

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
平成 28 年度 第 1 回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成 28 年 5 月 23 日（月）15:00～16:40

2. 場所：札幌第 1 合同庁舎 10F 共用第 1 会議室

3. 出席者 32 名

北海道運輸局、北海道開発局（8 名）、北海道地方環境事務所、北海道（4 名）、札幌市、北海道立総合研究機構（2 名）、北海道測量設計業協会、建設コンサルタント協会北海道支部、北海道 GIS・GPS 研究会、北海道 GIS 技術研究会、日本写真測量学会北海道支部、Digital 北海道研究会（2 名）、北海道高度情報化農業研究会、北海道大学、酪農学園大学（2 名）、国土地理院（4 名）

4. 議事

- (1) 情報共有会合について（設置の経緯 ほか）
- (2) イベントカレンダーの運用について
- (3) 話題提供
 - ・サッポロオープンデータ GIS 大賞の報告（Digital 北海道研究会）
 - ・地理院地図の改良について（国土地理院北海道地方測量部）
 - ・熊本地震における国土地理院の対応について（国土地理院北海道地方測量部）
- (4) 人のネットワークづくり
- (5) 情報共有会合で取り組む議題について（グループ討議）
- (6) その他

5. 配付資料

- (1) 事務局
 - ・議事次第・主席者名簿
 - ・地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会情報共有会合設立趣旨・設置要綱
 - ・平成 27 年度情報共有会合の実績
 - ・イベントカレンダーの運用について
 - ・地理院地図の改良について
 - ・熊本地震における国土地理院の対応について
- (2) 関係団体
 - ・サッポロオープンデータ GIS 大賞 一連の行事を終えて（Digital 北海道研究会）
 - ・第 8 回産学官 CIM・GIS セミナーのご案内（産学官 CIM・GIS 研究会）
 - ・日本写真測量学会北海道支部 UAV 相談会/総会/春季特別講演会（日本写真測量学会北海道支部）

6. 議事概要

- (1) 事務局より、情報共有会合の設立経緯と趣旨について、説明を行った。
- (2) 事務局より、情報共有会合の参加機関・団体が予定しているイベントを集約したイベントカレンダーについて説明し、引き続きイベント情報の提供の依頼を行った。
- (3) 話題提供として、Digital 北海道研究会からサッポロオープンデータ GIS 大賞の報告を行った。国土地理院からは、地理院地図の改良と熊本地震における対応について報告を行った。

(意見・質問)

地理院地図の改良について、地理の必修化により GIS を教えるときに地理院地図が必要となるが、高校の地理の先生は変更があるとなかなかついていけないので、改良版とは別に古い環境の地理院地図も使えるように残しておいてほしいとの意見があった。

- (4) 3 つのグループに分かれ、自己紹介のあとグループ討議を行った。グループ討議では、3 グループに分かれて情報共有会合で取り組む課題等について討議を行い、各グループより概要を報告した。

○A グループの報告概要

- ・地理院地図は防災訓練で活用されている。
- ・CIM では 3 次元の情報を扱うので地理院地図も 3 次元の場面で使いやすくなるのはよい。ガイドラインができることにより CIM がわかりやすくなるとよい。
- ・CIM や i-Construction の関係で UAV の活用に関する期待が高い。
- ・Digital 北海道研究会が UAV の訓練場所などを検討している。日本写真測量学会北海道支部の講演でも紹介したい。
- ・UAV の測量において、業界でも効率性、制約条件の精査、精度の検証などが急務である。

○B グループの報告概要

- ・積雪や植生がある場合、UAV の公共測量マニュアルの精度が満たせるかどうか。
- ・SfM/MVS のソフトはどれがよいか。
- ・CIM は少子化の問題解決の呼び水として期待している。
- ・農業分野で肥料や農薬散布などの活用事例も知りたい。

○C グループの報告概要

- ・公開されている情報のフォーマットや公開に使用するサーバーなどの仕組みについて事例紹介などを通じて情報共有したい。
- ・地理空間情報を整備する際の精度管理のしかたを教えてください。
- ・精度を必要としない UAV の作業のマニュアルなどがあれば紹介してほしい。また、用語解説集があればよい。

- (5) 第 8 回産学官 CIM・GIS セミナー及び日本写真測量学会北海道支部の UAV 相談会/総会/春季特別講演会の案内があった。次回の会合は 7 月の予定。